

第7回ビバホールチェロコンクール第1位受賞記念

ソーン・ムーンスンさんチェロコンサیتال

昨年7月に開催した第7回ビバホールチェロコンクールで第1位に輝いたソーン・ムーンスン（韓国出身、ベルリン芸術大学大学院在籍中）の第1位受賞記念リサイタルが、11月16日にビバホール、同18日には第一生命ホール（東京都中央区晴海）で開催されました。



★養父市を全国へ発信

チェロリサイタルは、隔年で実施しているビバホールチェロコンクール第1位受賞者の受賞記念として、コンクールの翌年に養父市と東京都で行っています。

特に、東京リサイタルは養父市を全国へアピールするほか、市や但馬の出身者との交流、都市と地方のホールの交流を図るとともに、チェロコンクールをPRするために開催しているものです。主催は、市とチェロコンクール実行委員会、市出身者から組織されたチェロリサイタル東京実行委員会、NPOトリトン・アーツ・ネットワーク/第一生命ホール。さらに、駐日韓国大使館韓国文化院と日本チェロ協会に後援をいただきました。

リサイタルは、シュニトケの「チェロとピアノのためのソナタ第1番」で幕を開け、ムーンスンは、ご主人のソレン・アイヒベルグさんがリサイタルのために作った曲を含む4曲を演奏しました。アンコールでは「赤とんぼ」も披露し、会場は大きな歓声で包まれました。

★多くの方に ご支援いただきました

このリサイタルの成功の陰には、市出身者や東京八高会で組織されたチェロリサイタル東京実行委員会、第一生命ホールを運営するトリトン・アーツ・ネットワークのご支援とご協力がありました。東京実行委員会には入場券の販売を担ってもらい、トリトン・アーツ・ネットワークには広報をはじめ運営に関する業務を行っていただきました。

終演後、関係者が集まってささやかなレセプションが行われ、出演者を囲んでリサイタルに携わってきた人たちが和やかに交流しました。なお、本年7月には、第8回ビバホールチェロコンクールを開催しますので、市民の皆様のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

～リサイタルを支えた実行委員さんの声～

柳沢英子さん（東京実行委員会）

こんな素敵なホールで、私たちの出身地である養父市が主催するチェロリサイタルが開かれたことは、素晴らしいことです。

このような取り組みを続けているふるさとを誇りに思います。

田中清さん（東京実行委員会）

ビバホールチェロコンクールの良さは、プライド、だと思えます。養父市は文化意識が高いと誇りに思っています。

このリサイタルは、但馬関係の人たちだけに声をかけるのではなく、他地方の方など多くの方に来てもらいたいと思っています。